

交差点



「共にいきいき市民のつどい」を開催しました

昨年12月15日、「共にいきいき市民のつどい」を開催しました。今回は男性学の第一人者で大正大学准教授の田中俊之さん(たなかとしゆき)を講師にお迎えし、男性学の視点からの男女共同参画のお話をさせていただきました。男性学とは男性が男性であるがゆえに抱えてしまう悩みや葛藤に着目した学問で、日本では1980年代後半から議論が始まりました。

▲田中俊之さんによる講演「女もつらいよ男もつらいよ」



▲お話は仕事と生命・生活・生涯と多岐にわたるものでしたが、わかりやすく充実した内容でした

男性も当事者

男女共同参画というと女性の問題を扱っている印象が強いため、関心のない男性が多いです。あっても「女性のためにやっけてあげている」という感覚の人もあります。高度経済成長期の「男は仕事、女は家庭」から、低成長期の「男も女も仕事も家庭も」へと移り変わり、女性の働き方が大きく変わった今、男性にも働き方、家庭や地域での関わり方に変化が求められています。

長時間労働問題

過労死により長時間労働が問題とされたのは約30年前。男性の働き方は、週5日40時間が「最低限」で、それ以上が「普通」

に求められています。週5日40時間は「最低限」ではなく、基本の労働時間。本来、定時に帰るのが「普通」なのですが、現実には残業することが普通になっています。

慣習として定着したものを変えるには、非常に困難で長い時間が必要です。しかし、子や孫の世代のために、今の私たちの利益にならなくても、改善の努力をしていくことが大切です。

誰もが生きやすい社会に

現代には「人がどのように生きようと私には関係がない」という無関心がベースの「消極的な寛容」がまん延しています。一見、人に優しくですが、自分の価値観と異なる人が身近に現われた時には強く反発します。これからの社会に必要なのは、自分の価値観とは異なる人に対し単に違いを認めるだけではなく、純粹に敬意を払い、互いに尊重し、受け入れようとする寛容さ、「積極的な寛容」です。実現のためには、お互いが話し合うことが必要。直接話すことにより伝わることもあり、長時間話すことにより互いに影響を与えます。誰もが生きやすい社

会にするためには、多様性が認められる社会でなければなりません。多様性を認めることは、他人のためだけでなく、自分自身として尊重されるためにも必要なことです。



▲会場では平成30年度男女共同参画川柳入賞作品の表彰式を実施しました

男女共同参画川柳入賞作品

今年度は25人、95作品の応募があり、厳正なる審査の結果、次の9作品が入賞しました。

男とか女じゃなくて人と人

安藤 一明

支え合う参画夫婦に二重丸

保坂 千恵子

優秀

最優秀



ご意見、ご感想、お問い合わせ、男女共同参画社会について、身近な問題などをお寄せください。
人権・男女共同参画課（中野市人権センター内） 〒383-0025 中野市三好町1-4-27

女性相談窓口から



しばらく前、大震災の津波で破壊された東北の海岸を訪れました。報道されていた「奇跡の一本松」は、高い防波堤に見下ろされた置物のようでした。

トラックの砂煙立つバス停で、初老の男性が声をかけてきました。「若者がいなくなった。再興は無理だろう」「JRは廃線になるだろう」などなど。この男性は、なぜ私のような見知らぬ旅人に話しかけてくれたのか。

それは、表情からすぐわかりました。話したかったのです。聴いてほしい、分ってほしい、感じてほしかったのだと。これまでたくさん話して来られたことでしょう。でも、まだ言い足りない、抱えた思いは尽きていない。「人は思いを分かってくれたいのだ」としみじみ思いました。

窓口へはさまざまな方が相談に見えられます。自ら来てくださることに感謝の思いでお会いします。家から出られない方も大勢いらっしゃるのですが、出かけてくださることで、問題解決の入口に立てているのです。そして、思いを語ることで変化されていきます。

お越しくくださることに感謝しつつ、これからもお話を聴かせていただこうと思っています。どうぞ半歩でも前へ。

ジェンダーギャップ指数公表

世界経済フォーラムが2018年12月、各国における男女格差を測るジェンダーギャップ（男女格差）指数2018年版を公表しました。この指数は、経済、教育、健康、政治の4つのデータから作成され、0が不完全平等、1が完全平等を意味します。日本は149カ国中、スコア0.662で110位（前年は144カ国中114位）でした。

年 (参加国)	2016 (144カ国)	2017 (144カ国)	2018 (149カ国)
総合	111位	114位	110位
スコア	0.660	0.657	0.662
経済分野	118位	114位	117位
教育分野	76位	74位	65位
健康分野	40位	1位	41位
政治分野	103位	123位	125位

■女性相談専門の相談員がさまざまな悩みの相談をお受けします

☎(23) 4810

○会場 中野市人権センター

○相談日 月～金曜日
(祝日は除く)

○相談時間 午前8時30分～午後5時15分

※面接を希望される場合は、要予約

佳作

対等で築く家庭に福が来る

樋口 春雄

佳作

妻仕事子とメシ作り帰りまつ

坂 美記

佳作

参画は会話笑いの絆から

浅沼 富夫

佳作

参画する郷土の集い広げる和

山岸 一二

佳作

キッチンにはペアエプロンで 旨み増す

久保 廣二

優秀

母の留守父の自慢のカレー煮え

小池 市子

優秀

おたがいの笑顔を作る思いやり

神田 富子

ご応募
ありがとうございます
ございました

